

日中友好のしんぶん

日本と中国

東京版

ボランティア宅本便
皆さまのご自宅に眠っている本・CD・DVD・ゲームなどはありませんか?
東京都日中友好協会はブックオフオンライン株式会社のご協力で「本で日中友好促進!」事業を行っています。詳細は→
<http://www.jcfa-tyo.net/iin/zaissei/takuhon/>

リニューアル第13号(平成31年3月1日発行)付録
発行:認定NPO法人東京都日本中国友好協会
所在地:〒113-0033
東京都文京区本郷3-4-5 ハイムお茶の水702
☎ 03-3295-8241 ☎ 03-3295-8255
ホームページ:<http://www.jcfa-tyo.net>
E-mail:to-nicchu@jcfa-tyo.net
編集・発行:広報委員会 編集人:森山光伸

寄付金、ありがとうございます。
下段にお名前を記載しました。

スピーチコンテスト全国大会 東京都代表3名が入賞!!

第36回 全日本中国語スピーチコンテスト全国大会

主催:(公社)日中友好協会 協賛:全日空 孔子学院本部/中国国家漢办 特別協力:(公財)日中友好会館



スピーチコンテスト全国大会一位 天野日向子さん

1月13日(日) 第36回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会(主催:日中友好協会)が日中友好会館で開催され、弁論の部【一般部門】では、東京都代表の天野日向子さんが見事1位入賞。また、【大学生部門】に出場された高嶋一希さんは奨励賞を受賞。朗読部門【大学生・大学院生の部】では、東京都代表の鈴木ひかりさんは最優秀賞を受賞した。

2018.10.19~12.26 寄付者名簿(順不同、敬称略)

戸村啓子、神山好市、須藤誠、須藤利子、松尾史生、王羽鶴、林麗子、小澤信弘、依田栄一、山本茂正、麻生富夫、吉田伸生、蔵元幸男、太田晴雄、横川和夫、柳田友隆、廣瀬展明、十亀英司、田畠英典、小山潔、北條久之、河村昭寿、矢部智大、横井守、斎藤修、中村一博、加納国雄、安田一利、矢作英一、浅間丈夫、傅健興、伊藤友一、奥村秀樹、牟春旭、王海東、丁俊傑、羅宇峰、高橋章、廖八鳴、熊嵩、劉林、彭勃、張曉峰、張弛、吳肖政、曹赤、劉益剛、季龍、宋恩銘、郭亞新、宇都宮徳一郎、陳自明、陳欣、方志昌、吳庶、鄭威、李斌、田京林、黃海、江浩暘、楊權、松本洋一郎、佐藤勝、伊井健一郎、西島保治、須山加代子、鈴木真澄、中村瑞子、古島琴子、柴田好夫、高野忠春、三宅進、福原梨花、松本正道

ご協力ありがとうございました。

青年委員会 みなと国際交流・協力の日に参加

「わー、カワイイ！」私たちのブースに来てくれた人たちの声。1月12日(土)に港区の麻布区民センターホールにて「みなと国際交流協力の日」のイベントが行われた。

私たち東京都日中友好協会も都日中の活動紹介と会員募集のため、青年委員会のメンバーを中心に張り切って参加了！

みなと国際交流協力の日は、国際交流・国際活動についての理解を深める目的のイベントで、今年で7回目。

今回は「多文化都市の未来」をテーマに、中国大使館とガーナ大使館のスピーチをはじめ、和太鼓とジェンベのコラボレーション演奏、テーマについてのトークセッションなどが行われました。我が都日中からは、于子豪さんが堂々たる見事なスピーチで都日中の活動をアピールしてくれました。当日はブース運営だけでなく、午前中の会場設営やイベント中の音響・照明の調整などもあり、あっという間に終わった印象。

なぜ我々のブースが、多くの人々から「カワイイ！」と評価頂いたのか？

それは中国大使館から頂いた、かわいいパンダのぬいぐるみのノベルティグッズであふれていたからだ。愛らしい



青年委員会 みなと国際交流・協力の日

ぬいぐるみと愛らしい我々の笑顔に、会場はもうメロメロだった(と思う)。今後も今回のようなイベントにドンドン参加して、都日中の活動を盛り上げていきたい！(中村裕介)

青年委員会 渋谷ニュー駅伝に参加して

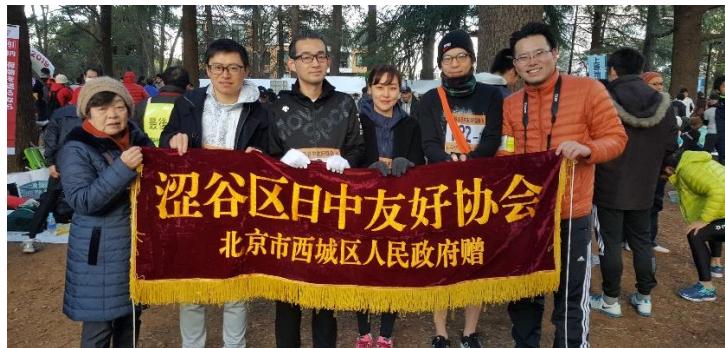
「On your marks!」晴れ渡る青空の元、長谷部渋谷区長による合図でスタートした渋谷ニュー駅伝。第一走者である私がスタートしようとした瞬間、次から次へと自分を颶爽と追い越していくランナーたち。周りのスピードの速さに圧倒され、呆気にとられ、そして、気づいた頃には後方集団にいた自分。それでも、コース前半は自分のペースを保つつつ、とても楽しい走りが出来ました。しかし、問題は1.5kmが過ぎた頃でした。長く緩やかな下り坂、上り坂に自然と減速せざるを得ず、足にものすごい負担がかかっていき、ペースダウンすると同時に、走るテンポが乱れていきました。ゴールテープが見え、間もなくゴールと思われましたが、実は折り返し地点がまだ残っていました。更に1km走る必要があったのです。発狂したくともそんな気力はなく、無心で走り続けました。次の走者へ無事、タスキを渡すことが出来た、あの瞬間、言葉には言い表せない感情がありました。そして、走り終えた自分は、応援側にまわり、チームメイトを応援していきました。チームメイトの走るテンポ・姿はとても良かったこともあります。私のタイムよりもかなり早くゴールできたそう。タスキを繋いでいき、ゴールしたときは、一番嬉しい瞬間。

次のマラソン大会にも参加すべく、引き続き練習していく所存。

今回、マラソンランナーとして一緒に参加してくださった、平楨早弥佳さん、于子豪さん、小檍基さん、プレスとして写真を撮ってくださった、永野剛さん、皆様、本当にお疲れ様。そして、ありがとうございます。謝謝大家！(黒川智煌)



青年委員会 渋谷ニュー駅伝



初めてまして、于李翔(うりしょう)と申します。青年委員及び広報委員です。中国広東省出身で、現在、拓殖大学国際協力経済開発博士課程二年生です。小さい頃、日本のドラマと映画(影武者、羅生門、陰陽師、渡る世間は鬼ばかり、東京ラブストーリーなど)の影響で、日本文化に深い興味があります。オーストラリアの高校を卒業して、すぐ日本に来ました。将来、日中友好の懸け橋になりたいです。広報委員としても中国のことを日本の皆さんに伝えたいです。特に現在の中国(例えば、親日の若者が増えている。中国の各地人々の人間性、若者の趣味など)。これから宜しくお願ひいたします。



はじめまして。野村芽衣と申します。化粧品会社に勤めていた際、上海の方にメイクを教えに行ったことがきっかけで、中国が大好きになりました。その後、ハルビンの冰雪祭りに出向き、マイナス35度の世界を体感、ザリガニを食す等中国を満喫しています。このような中国の良さを日本の方に知って頂けるよう頑張ります！宜しくお願い致します。

東京都日中の皆さま、初めまして！島田 静香と申します。高校時代に地元長野県の日中友好事業で、河北省石家庄市の家庭にホームステイをしたこと契機となり、中国語、中国の人々の暮らし、そして文化に興味を持ちました。それ以来、中国語をマスターすべく勉強に励み、大学では大連に1年間留学をしました。より多くの日本人、特に若者に、発展著しい中国の人々の考え方、悠久の歴史を持つ文化的魅力を知ってもらうことが必要だと考え、広報委員会の活動に参加しております。このような広報誌、また、SNSでの発信といった小さな積み重ねが、眞の日中友好に繋がると信じ、広報活動に励んで参ります。何卒よろしくお願ひいたします！



1月20日、中国語普及委員会主催の「日中友好新春かるた会」が、渋谷区リフレッシュ氷川で開催された。

かるた会には、1回戦、2回戦でそれぞれ30名が参加、見学者も含め37名の参加者を得て、無事終了した。

中国語を母語とする方の部の1位は、後楽寮（二松学舎大学に留学中）からの林娜さん（27枚）、2位は葛飾区立上平井小学校5年生の梅皓雲さん（21枚）と葛飾区立双葉中学校一年生の朴秀珍さん（21枚）。

日本語を母語とする方の部の1位は、船山むつみさん（40枚）、2位は小出和夫さん（23枚）でした。小・中学生が多く参加され、笑い声あり、拍手ありの和やかな雰囲気の大会だった。

第二部の交流会は、大会の日本語の読み上げをしてくださったフリーアナウンサーの仁木恭子さんの司会で始まり、お菓子やジュースを飲みながら参加者一人一人から感想をお聞きしました。そして最後に大会の中国語の読み上げをしてくださった祝振媛先生から朱熹の「春日」の説明を伺い、全員で朗誦し閉会となった。

ご支援、ご協力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様に心より感謝。



中国語普及委員会 日中友好新春かるた会

北区日中 春節餃子パーティー

北区日中友好協会では去る2月10日、恒例の春節餃子パーティーを王子小学校ランチルームで開催し、日中合わせて202人が参加した。朝9時から餃子の皮と具の仕込み作業を家庭科室で開始。10時半にはランチルームで餃子の皮包みを中国人が日本人に手ほどきしながら交流を深め、12時に花川與惣太会長（北区長）の新年挨拶の後、来賓の東京都日中・栗山眞之理事長と高木啓衆議院議員、榎本一区議会議長からは祝辞が述べられた。友好議員連盟の戸枝大幸会長が乾杯の発声をおこない、賑やかにパーティーが始まった。テーブルには熱々の水餃子の他、お寿司、焼きそば、唐揚げの他、中国の参加者には懐かしい油条（揚げパン）が並べられ、特に初参加の中国人参加者は喜んでいた。途中、東京中国歌舞団の教室に通う生徒さん達による中国楽器の演奏があり、パーティー後半のbingoゲームでは腕時計、暖房機などの豪華な景品が並べられた他、抽選を併用し、旅行カバンや商品券もあり、参加者は司会者が読み上げる数字に一喜一憂し、上がりの人が出る度に大きな歓声が上がった。また、残った景品争奪の参加者全員によるジャンケン大会も行われ、会場は大いに盛り上がり、景品は全員に行き渡った。終始、笑顔の絶えない和やかなパーティーも名残を惜しみつつ、大崎副会長の挨拶で閉会した。



北区日中 春節餃子パーティー

渋谷区日中 春節のつどい

2月9日正午から渋谷区日中の春節のつどいを渋谷区公園通りの東武ホテルで行い100名の出席があった。主催者を代表して永田哲二理事長が「長谷部区長を始め議員の先生方にご出席いただいた」と挨拶。来賓として長谷部健区長から「昨年西城区から代表団が来られ懇談をおこなった」などこれからの中日の関係について挨拶があった。丸山高司議長から挨拶と出席された区議會議員の方々の紹介もあった。中国大使館から倪健參事官が出席され「渋谷はファン発信の街であり若者の街です」「見たり聞いたりしたことを見たり聞いたりしたことを国民目線でそれぞれの国の人々に伝えることから友好は生まれる」などの挨拶があった。1988年渋谷区広尾小学校合唱団が北京を訪問、その時の一人である川内有緒さんが昨年「開高健賞」を受賞。「今回受賞したエッセイは、中国の蔡國強が世界的芸術家になる過程のエッセイであり、私は小学生の時中国へ行ったことが背景にある」と挨拶があり大きな拍手があった。

出し物として長拳隊の演武・中国の踊り・福与好一さんの芝居・吉岡リサさんの歌などで大いに盛り上がった。



渋谷区日中 春節のつどい

豊島区日中　日中韓で春節を祝う

2月17日(日)午後1時、IKE・Biz としま産業振興プラザ多目的ホールで、受付が終わった来場者(140名余)は、豊島区邦楽連盟による唄いと琴演奏に迎えられ会場に入った。今年は「東アジア文化都市2019」豊島区開催を記念して日本、中国、韓国合同による「春節を祝う会」を催した。昨年の8月、ハルビン市で行われた文化大臣会合で東アジア文化都市2019年の日本国開催地に豊島区が選ばれた。一年間を通して中国西安市・韓國仁川市とで文化交流を図る。午後1時30分から会は始まり、主催者の尾崎隆信豊島区日中会長、郭堅豊島区日中会員(中国代表)、金誠一郎在日大韓民国民団東京豊島支部支團長、里中郁男日中議連会長、吉村辰明日韓議連会長の挨拶の後、須藤誠東京都日中常務副会長、趙歆中国大使館文化部二等書記官からそれぞれ心のこもったご祝辞をいただいた。続いて齊木勝好豊島区觀光協会名誉会長・東アジア文推進協議会会长による乾杯の発声で賑やかに祝う会は始まった。少し遅れて高野之夫豊島区長が見えられ、「日中韓合同の会は歴史的快挙」と、今年一年間にわたる三ヵ国交流活動の励ましともどれるご祝辞を頂いた。

今年の料理は日中韓合同ということで、日本からは寿司桶、中国からはアサリ・青ネギと卵炒め、海老マヨネーズ、焼きビーフン、サクサク揚げ鶏肉のネギたれかけ、水餃子、



豊島区日中 春節を祝う会

韓国からはキムチ、チジミ、チャプチェ、餅類(ヤッパ)。酒類も紹興酒、マッコリ、青島ビールと例年と違ったメニューに来場者も大喜び。舞台では子供達によるダンス、中国民族衣装による踊り、歌や演奏。韓国からも民謡などが披露された。

恒例のお年玉プレゼント抽選会では方々で歓声とため息が! 午後3時半、天沼友一実行委員長の挨拶で次回の再会を約して閉会となった。

西東京市日中 上海市対友協と高校生交流協議

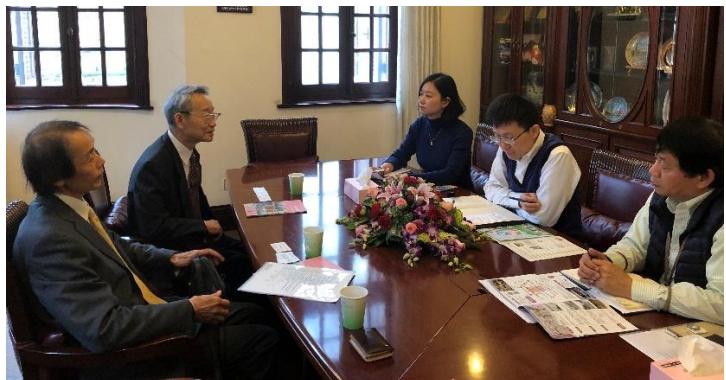
昨年12月6日、渡辺康生会長、前田久男副会長、黄瑩瑩理事、3名は上海市对外友好协会を訪問し市対友協・日本所曹海炯所長と青少年交流、特に高校生交流について協議した。会議には郭盛麟常務理事、顧瓊娜理事が同席した。

曹所長からは2016年の上海対友協60周年青少年交流事業成果と内容の説明があり、また今後、高校生交流推進の提案があり、互いに合意した。この度の上海訪問は当協会の黄理事(上海出身)の立案にて実現したものである。

帰国後、本年1月23日には渡辺会長、前田副会長が武蔵野大学・高等学校を訪問、日野田直彦校長と友好交流を目的とした高校生上海派遣について話し合った。

日野田校長は中国訪問の経験も大変豊富で、高校生を対象とした学内中国語スピーチコンテストを適当な時期に開催し、入賞者と教員を当協会と協議の上、上海に派遣する予定である。会議には武蔵野大学国際課・課長代理田才大樹氏が同席した。当協会と協力関係にある武蔵野大学孔子

学院もこの目的達成のため、今年、高校に中国語講座の開設を予定している。



西東京市日中 高校生交流協議

目黒区日中 目黒区国際交流フェスティバルに参加

去る1月20日(日)午前10時から、目黒区国際交流協会(MIFA)主催の第14回国際交流フェスティバルが区内柿の木坂のパーシモンホールで開催された。

当日はめずらしく穏やかな晴天に恵まれ、屋外では飲食ブースが立ち並び、ホールロビーでは区内にある各大使館がそれぞれ国の物産や趣向をこらした出展で参加、大ホール舞台では式典のあとわが国をはじめ各国の民俗舞踊や歌が披露され、おおいに盛り上がっていた。小ホールではユネスコ協会をはじめ区内のそれぞれ国際交流団体が出展。当協会も交流団体の一員として、昨年かなりの盛況だった「クイズに挑戦して、記念品をもらおう」・「あなたの名前を中国語で」・「簡単な日常中国語を覚えよう」のコーナーを設けて参加。老若男女皆さんが参加してくださいましたが、「クイズ」の設問が昨年に比べて少々難しかったようだ。「日中國交正常化共同声明署名人?」、「東京都と北京市が友好都市となって何年?」、「中国の農業技術・文化を伝えた人?」など、三択ではあったが若い世代の方々の参加が多くなったためか、特に「関係あるものを線で結ぶ?」では「紫禁城—故宮博物院」、「大雁塔—三藏法師」など正解率は低かった。反省。しかし、今回も当協会会員の区議会議員皆さんの応援で「呼び込み」が功を奏し、クイズに挑戦

してくださった人は130人を超えて、記念品が無くなるほどの大盛況。4時、無事に交流活動は終了した。



目黒区日中 国際交流フェスティバル